

会 報

# 鳥 取

第35号

2021年1月



白砂青松の弓ヶ浜サイクリングコース

目 次	表紙	1	高齢者活躍人材確保育成事業実施状況	14~17
	新年の挨拶（連合会会長）	2	シルバー人材センターの紹介	18~19
目 次	新年の挨拶（鳥取労働局長）	3	会員のひろば（倉吉市、岩美町）	20~21
	理事長・会長の抱負	4~10	趣味のひととき（南部広域、智頭町）	22~23
	事業実施状況	11~13	会員名簿・あとがき（裏表紙）	24

# 新年のごあいさつ



公益社団法人 鳥取県シルバー人材センター連合会

会長 田中 勉

新年あけましておめでとございます。

皆様には、新年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

併せて、連合会の運営につきまして、関係各位のご協力とご支援に深く感謝申し上げます。

私は、昨年十一月に連合会の会長に就任いたしました。この場を借りて、皆様にあいさつを申し上げますとともに、ご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願いいたします。

昨年からの新型コロナウイルスの感染拡大は、経済活動や雇用等に大きな影響を及ぼ

し、日々の生活ではマスクの着用が欠かせない状況となりました。

県内の各センターにおいては、経済活動の縮小により大半のセンターは、昨年度に比べ、実績が落ち込んでいます。

各センターにおかれましては、会員が健康で生きがいのある生活を送り、地域社会に貢献することができるよう、関係機関と連携を図りながら、事業活動を展開していただくことを期待します。

また、県下の各センターはもちろんのこと、全国のシルバー人材センターの大きな課

題である令和五年十月から施行される適格請求書等保存方式（インボイス制度）について、調査研究し、対応する準備を進めていく必要があります。

終わりに、皆様にとって、明るく、希望に満ちた良い年になりますことを祈念して、新年のあいさつといたします。



# 新年のご挨拶



鳥取労働局長

石田 聡

シルバー人材センター会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。

昨年は「令和」を迎えて二年目となり、本来であればオリンピックキヤーとして、海外からもたくさんの方の外国人観光客が来日し、活気づく年となるはずでしたが、「新型コロナウイルス感染症」一色の年となったと言っても過言ではありません。

我が国では昨年四月に緊急事態宣言が出され、五月のゴールデンウィーク後に解除されたものの、八月、十二月に感染者が再び増加いたしました。

鳥取県内の感染者数は全国で最も少ないものの、県内の経済及び雇用に影響は計り知れないものがございます。令和元年に概ね一・七倍台で推移していた有効求人倍率も一・二倍台にまで低下しております。

鳥取労働局では、新型コロナウイルスの状況下で、解雇等を行わずに休業等により雇用維持を図っていただいた企業に対する雇用調整助成金や新型コロナウイルス感染症対応休業支援金等の迅速支給に努めています。特に雇用調整助成金につきましては、八月にはリ

ーマンショック時の申請を上回り、十一月末

現在で八、二五七件と、非常に多くの支給決定を行っております。

二〇二一年四月より、改正高齢者雇用安定法が施行され、七十歳までの就業機会の確保が事業主の努力義務となります。今後益々高齢者の活躍が期待される所です。

鳥取労働局としましては、シルバー人材センターと連携しながら生涯現役社会の実現を目指し、高齢者が地域で働ける場や社会を支え活動できる場の拡大に引き続き取り組んでまいります。

会員の皆様には健康や感染防止対策に十分ご留意の上、今まで培った経験を活かしながら、社会の支え手として一層ご活躍されることを祈念いたしまして、新年のご挨拶いたします。

# シルバー人材センター 理事長・会長の抱負



公益社団法人 鳥取市シルバー人材センター



理事長 田中 勉

新年明けましておめでとうございます。皆様にはお健やかに、新春をお迎えのこととお喜びを申し上げます。

我が国においては、少子高齢化が進展し、長期の人口減少過程に入っています。政府は「生涯現役」の実現及び七十歳まで、就業できる方針を発表する等、高齢者を労働人口に活用する施策を施しています。このような中、その担い手であるシルバー人材センターの役割がますます、大きなものになっています。

昨年からはじめ全世界では新型コロナウイルスの感染により、経済活動や雇用等に影響を及ぼし、日々の生活ではマスクの着用が欠かせないものとなりました。

本センターにおいては、春先から地域イベントが中止されたため、イベント関係の請負・委任の仕事が減少しました。

一方で、企業の人手不足は続いており、派遣事業は増加し、順調に推移しています。

さて、本センターは、今年で四十周年を迎えます。本来ならば会員と一緒にしてお祝いをするべきところですが、新型コロナウイルスの感染防止の観点から、式典行事等は控えざるを得ないと考えています。

本年は、特に会員拡大に努め、会員が働くことを通して、健康で生きがいのある生活を実現し、地域社会に貢献するという、目的を達成するため、鳥取市シルバー人材センターは、鳥取市をはじめとする行政機関と連携を図りながら、事業活動を実施し、地域社会から信頼される公益社団法人の役割を果たしてまいります。

終わりに、関係各位のご発展と、会員の皆様並びにご家族のご健勝と、ご多幸を祈念申し上げます、年頭のあいさつといたします。



公益社団法人 米子広域シルバー人材センター



理事長 仲村 一男

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様にはご健康にご留意されお健やかに新年をお迎えのことと存じます。地域の皆様のご支持、行政や関係機関のご指導・ご支援により不断の事業運営が図られていることを厚くお礼申し上げます。

さて、少子高齢化が進むなか、経済社会の活力を維持し地域社会を支えていくためには高齢者自身が健康を保ち、これまで培ってきた豊かな経験と能力を有効に活用し、社会参加や働くことを通じて仲間づくりや生き甲斐の充実を図るなど、高齢福祉の増進に資することを目的としたシルバー事業の果たす役割は益々重要となっております。この様な中、昨年から新型コロナウイルス感染の影響により厳しい状況下にあります。今後の事業運営に当たっては、地域社会の需要に対応したサービスと、就業機会の開拓拡大など時代のニーズに合った業務の提供を積極的に取り組むたいと思います。その上でシルバー事業の様々な課題に対して組織的に検討し、より円滑な事業運営を図る「業務改善委員会」、また高齢者人口の男女の割合からみて拡大余地の大きいとされる女性会員の拡大・社会進出を目指しての「女性部」、この二つをこの度立ち上げました。この

ことによりシルバー事業が地域から信頼され発展していくシルバー人材センターを目指して参ります。終わりにりましたが、この一年が皆様にとってお元気で健康な年となりますことをご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

公益社団法人倉吉市シルバー人材センター



理事長 中林 正樹

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、ますますご健勝で新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

日頃より、皆さまにはシルバー事業につきまして、ご理解とご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

わが国においては、少子高齢化が進んでおり労働力不足が深刻になっております。国はこうした状況に対応するため、企業の雇用確保措置の徹底・ハローワークでの高齢者再就職支援窓口の強化等、高齢者の労働力への期待はますます高くなっております。そうした中、多様な就業機会を提供するシルバー人材センターの役割は重要となり、期待されているところであります。

一方、シルバー人材センターの現状は会員数が減少しつつあり会員拡大という大きな課題がある中

で、当センターも会員減による契約金額の減少を生じているところであります。

働く意欲のある高齢者はまだまだたくさんおられると思いますので会員拡大に向け根気強く多様なPRを進めて参りたいと考えています。

終わりに、皆様にとって幸多い良き年になりますことをご祈念し、新年のごあいさつといたします。

公益社団法人境港市シルバー人材センター



理事長 米村 健治

新年あけましておめでとうございます。

皆様には栄えある新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は地球レベルでの新型コロナウイルス禍一色の年で明るい話題の少ない年でした。日本と関係深い欧米等の感染者数の多さから早期の終息が困難であることが想定され、感染者数の拡大はもとより地域経済社会への影響が長引くことが懸念されます。

経済活力の源泉である海陸空の極めて恵まれたポテンシャルを有する境港も例外なく、かつて経験のない影響を受けています。加えて市の知名度発信に大きく貢献する水木しげるロードも観光客の減少で

その対策に苦慮している現状です。

混迷の言葉が過言ではない経済社会の現状において、シルバー人材センターも厳しい事業遂行を余儀なくされているのです。幸い私もシルバー人材センターは派遣事業への落ち込みはありませんが、メインである請負事業等は若干増加し、さほど大きな変動はなく、会員のご努力、境港市、県シルバー人材センター連合会のご指導ご支援に深くお礼申し上げます。

シルバー人材センター会員の多くは戦後の荒廃した難局を乗り越えられたのであり、今こそ世のため人のためその経験と知恵を生かす時なのです。

本年も「自主・自立、共働・共助」の理念のもと、安全第一事故もなくご健勝で輝ける年となることを心より祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。



公益社団法人 南部広域シルバー人材センター



理事長 有馬 均

■インボイス導入、センター事業に危機感

明けましておめでとうございます。本年は穏やかな年であってほしいと願っています。

昨年から新型コロナウイルスの感染が第一波、第二波、第三波と拡大しつつあります。

わが南部広域シルバー人材センターの令和二年度の実績はコロナ禍の影響によりやや下降している現状です。私達シルバー会員は高齢者です。特に感染しない、させないように細心の注意を払い、そのためのガイドラインを遵守いたしましょう。

令和五年十月に導入予定の消費税における「適格請求書等保存方式（インボイス制度）」については、シルバー人材センター事業に及ぼす影響が極めて大きいことから、安定的な事業運営が可能となる措置を国、地方公共団体、国会議員、地方議会等に要望しているところですが、役員のみが要望などの働きかけをするのではなく、会員の間が危機感を共有していただきたいと思えます。

コロナが終息し、東京オリピックなど各種行事が開催され、経済が好転しシルバー人材センターが発展することを期待してやみません。

公益社団法人 智頭町シルバー人材センター



理事長 小林 實夫

謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

鳥取県シルバー連合会会員及び各センターの会員におかれましては、健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスにより請負・派遣とも大幅に事業量が落ち込むなど厳しい年となりました。本年も感染予防に努めコロナ過と共存した生きがい就業の実現を通じた地域社会を目指す所存です。

さて、近年の労働力人口の減少等により、サービス業等での人手不足や、育児・介護等の現役世代を支える分野での担い手不足が問題となる中、当該分野での高齢者の就業を推進することは喫緊の課題であり、シルバー人材センターの役割はますます重要とされております。

しかしながら、シルバー人材センターを取り巻く状況は年々厳しくなっております。

特に、国の進める高齢者の就労促進に伴い新規会員対象者が減少してきており、シルバー事業の主体となる会員の成り手不足は深刻な問題であります。

当シルバー人材センターでは、介護分野の現役世代を支える事業として、利用者が可能な限り自宅で自立した日常生活がおくることのできるよう、自宅

にこもりきりの利用者の孤独感の解消や身体機能の維持、家族の介護の軽減等を図ることを目指し、本年度も引き続き森のミニデイ「杉の郷」を運営します。

さらに、障がいのある方及び要介護者等を対象とした福祉有償運送並びにバス・タクシーなどの公共交通を補完し、高齢者の日常生活を支援する公共交通空白地有償運送を本年度も行い住民生活を支えていきたいと考えております。

また、安全就業につきましては、安全を最優先に安全パトロールを頻繁に行うなどして徹底を図る所存であります。

終わりに、本年が皆様にとりまして、健康で幸せに満ちた一年となりますことを祈念いたしまして、年頭にあたつてのごあいさつとさせていただきます。

公益社団法人 岩美町シルバー人材センター



理事長 渡瀬 正章

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えることとお慶び申し上げます。

さて、ご承知の通り、昨年「新型コロナウイルス」という目に見えない脅威によって私たちは普段の生

活を一変させられました。我々を取り巻く環境は激変し、世界情勢は全く予断の許されない状況でございます。岩美町においても、観光業に大きなダメージを受け、当センターにおいても、それに付随していた事業の実績の落ち込みが顕著に表れ、厳しい新年の幕開けとなりました。

このような時代であるからこそ、今まさに我々は今までの生活習慣を見直す時期にきています。次の世代や、百年先、千年先の命まで、我々が育ててきた自然環境や歴史、文化をきちんと受け継いでいくためにも「受け継いで来たもの」を見直すことが今求められているように思えてなりません。定年延長や再雇用の制度により新規会員の確保が大変厳しくなっておりますが、ここでシルバー人材センターの意義「生きがい」や「地域貢献」など付加価値を再確認し、役員と会員一丸となって創意工夫し、魅力あるシルバー人材センターとなるよう邁進していきたいと考えています。

厳しいご時世ではございますが、一日も早く、この見えない敵に人類が打ち勝つ日が来ることを願いつつ、皆様にとりまして、この新しい年が輝かしい年となりますよう心から祈念いたしまして、私からの新年のご挨拶とさせていただきます。

公益社団法人 湯梨浜町シルバー人材センター



理事長 米村 繁治

新年明けましておめでとうございます。

この正月は、例年以上に格別の思いを持って、健やかに新年を迎えられたことを会員の皆さんと共に喜びたく存じます。

昨年は新型コロナウイルス感染症対策で、会員の家庭生活にも法人の事業運営及び業務執行にも日常のあり方が激変しました。世の中には、矢継ぎ早にアルファベットやカタカナの並んだ新しい言葉が次から次へと出てきて、そのことが日常と化してきました。

我々もその中で制約がある自粛生活や対策を徹底した業務に従事していくことが当たり前のこととなつてきております。

引き続き、本年も感染予防の徹底と的確な情報提供を図りながらシルバー人材センターの運営に当たる所存であります。

世の中の平穏が一刻も早く戻ることを切望し、会員の皆さんのご健勝をお祈りいたします。

公益社団法人 琴浦町シルバー人材センター



理事長 田中 明

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、新年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃はシルバー人材センターの事業運営にご理解、ご協力を賜り、ありがとうございます。

さて、昨年は新型コロナウイルスの猛威により、生活援助サービスに係る会員の就業に少なからず影響があり、更にはイベントの相次ぐ中止により、シルバーの啓発活動が出来ない等、課題としている会員の拡大、就業開拓を行う上で大きな支障となりました。

今後は会員・役員から知人への声かけを重点に、あらゆる手法・機会を捉えて地域社会を支えるシルバーの役割を発信して、会員の入会に繋げることが重要と考えます。

また、「安全はすべてに優先する」を念頭に置き、家を出てから帰るまでが仕事であるとの意識を高く持って作業を行うことも重要です。

終わりに、シルバー人材センターを取り巻く状況は、インボイス制度の導入に係る財政的な懸念など、決して恵まれたものではありませんが、今年にはコロナ禍が落ち着き、安心して会員同士が触れ合え、か

つ地元で喜ばれる仕事が出来、事業実績が伸びる年であることを願って、新年のご挨拶といたします。

公益社団法人 北栄町シルバー人材センター



理事長 日置 勝彦

明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、コロナウイルス禍や猛暑日の連続等により業務推進に支障をきたし、当シルバー人材センターの業務実績は前年を下回っています。

しかし、皆様には安全就業を推進していただき重篤事故もなく、依頼された業務をこなされ事業の運営にご協力いただき感謝申し上げます。

さて、今年の重点目標は、第一に会員の拡大を図ることと就業先の開拓をすることです。現状を見れば、老後の生活不安に再雇用や再就職をされる方が多く、継続性の少ないシルバー人材センターへの関心も薄く、会員増につながっていません。

お客様の依頼に応えるためには、会員拡大とともに就業場所の開拓は、重要な喫緊の課題です。

昨年、口コミでの会員拡大としてお願いした、友

人・知人をはじめ加入者のいない集落の方、お客様との談話で得た対象者への働きかけを継続してお願いいたします。

第二には、何よりも留意し気を付けていただくことが、安全適正就業です。

高齢者は、とっさの危険回避が遅くなり、事故につながる確率が高くなっています。危険防止のため、安全防具を身に着け、危険防止対策を取って業務に取り組んでください。また、業務場所への往復での交通事故にもご注意ください。

安全就業優良団体としてさらに安全就業、事故ゼロへ取り組んでいきましょう。

自らの命は、自ら守る。との大原則こそ肝要です。

この一年、皆様とご家族にとって幸多き年になりますようご祈念を申し上げますとともに、課題と抱負を申し上げ、新年のご挨拶と致します。



公益社団法人 大山町シルバー人材センター



理事長 西川 昌康

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスにより世界的に厳しい情勢の中で、国内の世情も定まらずに推移してきました。

そうした中で、当センターでは会員の拡大を課題に役員・会員が一丸となって取り組んだところですが大きな成果を得るに至りませんでした。会員の拡大はセンターの発展に不可欠で、引き続き重点とする課題です。

また、両輪をなす就業先の開拓も同様です。公共事業への依存が厳しくなる予想の下で、企業、民間への一層の開拓を図らなければならないところです。

次の課題は、安全就業の徹底です。

昨年、当センターでも剪定作業中の会員が足場から転落して踵を骨折し、長期の治療を要した作業事故が発生しました。

事故は、本人・家族の苦しみは当然ながら、利用者からみれば「シルバー」に対する信用失墜の大きな要因です。指針・就業規約を徹底して事故の絶無に努めなければならないところです。

世情が早期に落ち着く気配もなく、労働環境は更に厳しくなることが予想されます。ここで、シルバー人材センターは「生きがいの充実、地域への貢献」という基本に帰り、「共に働く感」を持つ組織の見直しに努めるよい機会ではないでしょうか。  
皆様のご健勝とご活躍を祈念致します。合わせて、新年における抱負といたします。

### 一般社団法人八頭町シルバー人材センター



理事長 衣笠 春寿

新年あけましておめでとうございます。

令和も早や三年、県内シルバー会員の皆様、関係各位にはこの新型コロナウイルス禍にあっても健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。  
昨年のコロナウイルスによる人類に及ぼす未曾有の危機は新年を開けても容易に回復のきざしを見せておりません。いざ世界英知がワクチンの開発など、科学が力強い効果を見せてくれるのでしょうか、今しばらく私達の個々が徹底した対策を頑張ることが重要な課題であらねばなりません。

さて、シルバーの昨年の事業は大部分、縮小、中止となり、かつて経験のない一年を終えました。新年のシルバーの活動が活発に始まることを願うばかりです。

りでありますが、コロナ対策に油断なく生き生きと地域社会に貢献するものでありたいものです。

当シルバー人材センターにおいては、ふり返って見ると会員数の減少ということもなく、大きな事故もなく終えました。変わらぬ少数精鋭、会員相互の連携も一層向上し、地域ともうまく協調しながら八頭町一万七千人の中に溶け込んで貢献が進んだように思っているところです。

引き続き本年も国内外の情勢の厳しき、気候変動による自然災害、日本でもアメリカでも何となく政治への心配もあります。

しかしながらシルバー人材センターとしては昨年同様八頭町の支援を受け、会員の安全、健康を思いながら地域のすみずみまで丁寧にご貢献できることを念じているところです。

本年もご支援、ご鞭撻をお願いするとともに皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

### 江府町シルバー人材センター



理事長 山本 信男

新年あけましておめでとうございます。

県シルバー連合会、並びに会員の皆様方におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申

し上げます。

昨年は、後世に大転換期と明記される新型コロナウイルス感染症の世界的蔓延(コロナ禍)で始まり、会員の皆様方も周囲の健康、安全確保はもとより、社会活動全般における行動様式の変更について、試行錯誤のなか各種大会、研修会中止という大変残念な決断となりました。さらに、地球温暖化による自然環境の激変による、台風・大水害・猛暑により被害を受けられました皆様にも心よりお見舞い申し上げます。

江府町シルバー人材センターは設立以来基本理念としている「自主、自立、共働、共助」を柱として活動を進めております。

会員の高齢化と働き方改革等により、新規入会者が少なく特に、職能班の後継者不足が益々深刻な課題となっております。会員ひとりひとりが地域に声をかけ会員拡大を推進する「声かけ運動」を実施し、「小さくても輝くシルバー人材センター」、「地域の皆様から必要と重宝されるシルバー人材センター」、「会員同士の信頼関係を尊ぶシルバー人材センター」を礎として活動を進めてまいります。

農家の多くは、核家族と高齢化により様々な作業を依頼される現状になっており、農地(環境)保全のため会員拡大は急務であると思っております。会員の皆さんには各種技能講習に積極的に参加し技能向上をはかり、多様なニーズに対応していきたいと思っております。

昨年に引き続き、一斉ボランティア活動の実施、町民の皆さんに親しまれるシルバー人材センターと

して定着して行きたいと思えます。  
終息を見ないコロナ禍の中。今後とも皆様に一層のご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。そして年頭のご挨拶とさせていただきます。

日南町シルバー人材センター



会長 段塚 傑

新年あけましておめでとうございます。  
昨年中は会員の皆様をはじめ関係機関各位のご指導、ご協力を頂き厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年は春より新型コロナウイルスの襲来で感染拡大し、世界中が恐怖の渦にさらされています。また、昨秋より第三波襲来で収束の不透明な現状にあります。

昨年を振り返りますと、連日の猛暑で熱中症とコロナ感染の予防に神経を使つての作業でした。会員が健康被害を受けることなく就業できたことは、幸いとするところです。

本年の取り組み課題としては、第一は依頼者に喜ばれる仕事をする。喜ばれるどころか「トラブル」「賠償責任」などを発生させない事を心掛け、事業所の窓口を通してからの下見、引き受けとルールの徹底を順守する。

第二に、健康と安全就業。基本を守り、事故ゼロを継続したいと思えます。コロナ禍は収束の目途はつきりしないようですが、安全を守って就業をと思えます。

第三は、会員の潜在技能を知り、便利屋的になり、シルバーの知名度アップにつながると思えます。第四に、会員の加入増強への活動。

昨秋、事務局からの「CATV」の日南チャンネルでシルバーの知名度アップと会員募集をして、成果が期待されることです。

これからの農家は、核家族と高齢化により様々な作業依頼が増えてくると思えますが、会員の減少と高齢化の進む中であり危険な仕事、厳しい作業は断る勇氣も必要な現況にあります。今後は、会員同志の連携融和を図り、地域に貢献するシルバーとして意気高揚に努力したいと思います。

本年も関係各位のご支援とご協力を受け賜りますと共に、皆様のご繁栄とご多幸を祈念し新年のご挨拶といたします。



三朝町シルバー人材センター



理事長 田渕 忠昭

令和三年の初春を迎え、本来ですと寿ぎの挨拶であります。昨年から私たちの生活を脅かしております新型コロナウイルス感染拡大の中でおめでとも言えない状況です。しかし年明けということでも、気分も一新してコロナ感染拡大に十分に対応しながらセンター運営に邁進しなければなりません。毎年の懸念事項ですが、センターを頼って来られる方々は多くなつてきている傾向にあります。いわゆる作業はいくらでもありますが、会員数と適材適所に会員を当てはめられない状況も多々あります。会員のみなさまには、平均に(概ね)作業を振り分けできれば、これに越したことはありませんが、体力・技能等の差もあり理想どおりにはいきません。その上に、会員の方々も年齢を重ねて来られた方々も多数になり新規会員も思い通りに募集できない状況が続いており、作業もすべて受け入れられない現状であり、本年こそは会員の増員にも力を入れなくてはと考えているところがあります。

今年も関係各位のご支援とご協力をうけ賜りますとともに、皆様の繁栄とご多幸を祈念し新年の挨拶といたします。

## 令和元年度(下半期)事業実施状況

### 第二回理事会

令和元年十二月十三日(金)倉吉市において、第三回理事会を開催した。

議案第一号

令和元年度収支補正予算(案)について

議案第二号

公益社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会の衛生管理規程の制定について

議案第三号

公益社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会衛生委員会規程の制定について

議案第四号

公益社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会職員就業規則の一部改正について

議案第五号

公益社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会就業機会開発推進委員会規程の一部改正について

議案第六号

公益社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会特定個人情報事務取扱規程の一部改正について

議案第七号

公益社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会有料職業紹介事業手数料規程の一部改正について

### 第四回理事会

令和二年一月二十二日(水)倉吉市において、第四回理事会を開催した。

議案第一号

公益社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会が行う労働者派遣事業に係る同一労働同一賃金への対応について

議案第二号

公益社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会シルバー派遣労働会員就業規則の一部改正について

議案第三号

公益社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会が実施する厚生労働省鳥取労働局の委託事業推進委員会の設置及び運営に関する規程の制定について

### 第五回理事会

令和二年三月二十五日(水)倉吉市において、第五回理事会を開催した。

議案第一号

令和元年度収支補正予算書(案)について

議案第二号

令和二年度事業計画(案)について

議案第三号

令和二年度収支予算書(案)について

議案第五号

公益社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会派遣労働会員就業規則の一部改正について

議案第六号

公益社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会職業紹介事業の運営に関する規程の一部改正について

議案第七号

公益社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会有料職業紹介に係る個人情報適正管理規程の一部改正について

### 第三回理事長・会長、事務局長会議

令和二年一月三十一日(金)倉吉市において、第三回理事長・会長、事務局長会議を開催した。

議題

- ・ 第三回都道府県シルバー連合事務局長会議伝達
- ・ 派遣労働会員への有給休暇の付与について
- ・ 連合会が行う労働者派遣事業に関する同一労働同一賃金への対応について
- ・ 連合会が実施する厚生労働省鳥取労働局の委託事業推進委員会の設置について

### 令和元年度

### 第二回安全・適正就業推進委員会

令和二年二月十二日(水)倉吉市において、令和元年度第二回安全・適正就業推進委員会を開催した。

議題

- ・ 令和元年度事故（傷害・賠償）発生状況
- ・ 安全・適正就業推進事業の実施状況について

## 令和二年度(上半期)事業実施状況

### 令和二年度定時総会

令和元年六月十九日（金）倉吉市にて定時総会を開催し、すべての議案が原案どおり承認された。

議案第一号

令和元年度事業報告承認の件

議案第二号

令和元年度決算報告承認の件

【監査報告】

議案第三号

理事選任の件

### 第一回理事会

令和二年六月四日（木）倉吉市において、第一回理事会を開催した。

議案第一号

令和二年度定時総会（案）について

議案第二号

令和元年度収支補正予算書（案）について

議案第三号

令和元年度事業実施報告書（案）及び収支計算書

（案）について

【監査報告】

議案第四号

令和二年度収支補正予算書（案）について

議案第五号

公益社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会

職員就業規則の一部改正（案）について

議案第六号

理事候補者の選任について

### 第一回安全・適正就業推進委員会

六月八日（月）倉吉市において開催し原案通り承認されました。（出席者十三名）

議題

一 令和元年度 事故（傷害・賠償）発生状況について

二 令和元年度 安全・適正就業推進事業の実施状況について

三 令和二年度 安全・適正就業推進事業基本計画（案）について

四 令和二年度 安全・適正就業対策実施計画（案）について

五 令和二年度 シルバー人材センター事業 安全・適正就業強化月間実施要項（案）について

六 その他

## 安全・適正就業推進委員会委員による安全パトロール

南部広域シルバー人材センター

八月二十一日（金）

琴浦町シルバー人材センター

八月二十五日（火）

北栄町シルバー人材センター

八月二十六日（水）

岩美町シルバー人材センター

九月二日（水）

日南町シルバー人材センター

十月二十日（火）



## 安全・適正就業研修会

七月二十日(月)各シルバー人材センター役員・会員がコロナ対策を取り、六十九名が参加。最初に安全就業標語募集に応募された二〇七編の中から最優秀賞一編・優秀賞五編・入選五編を表彰。最優秀作品は、

「危ないゾ 言える勇氣と聞く心」

皆で摘み取る危険の芽」

続いて「講話」倉吉市役所長寿社会課 大久保美智子氏の「高齢者の生きがいと健康」、事例発表(公社)岩美町シルバー人材センター安全・適正就業開拓推進員川口耕司氏「会員の安全について」、事例発表三朝町シルバー人材センター理事長田淵忠昭氏「安全就業について」、事例発表南部広域シルバー人材センター伯耆支所長天場正実氏「適正就業と安全の取り組み」の発表があり、最後に全員で「安全・適正就業宣言」を唱和して終了しました。



## 安全就業講習会

令和二年度の安全就業講習会は、東・中・西部地区で「転倒防止及び飛石事故防止」を実施した。

東部地区	十月二十九日(木)	参加者十五名
中部地区	十一月五日(木)	参加者十六名
西部地区	十一月六日(金)	参加者二十名



東部地区 10月29日転倒防止及び飛石事故防止講習



西部地区 11月6日転倒防止及び飛石事故防止講習



中部地区 11月5日転倒防止及び飛石事故防止講習



## 高齢者活躍人材確保育成事業 各種技能講習の開催



高齢者活躍人材確保育成事業は、県内の元気な高齢者に人手不足や現役世代を支える分野などで就業して頂くために必要な技能講習を実施し、シルバー人材センターの会員として地域で活躍して頂くことを目的としています。

今年度は、6種類の技能講習のほか、就業体験、セミナー、教室を計画・実施しています。

開催地	講習名	日程	日数	定員	受講者	修了者
鳥取	調理補助スタッフ講習	9月14日(月)～16日(水)	3	15	13	13
	草刈技能講習	11月5日(木)	1	15	5	5
	傾聴スキル講習	12月7日(月)～8日(火)	2	15	12	12
	整理収納基礎講習	12月15日(火)～16日(水)	2	15	18	17
湯梨浜	草刈技能講習	10月15日(木)	1	15	15	15
倉吉	整理収納基礎講習	10月28日(水)～29日(木)	2	15	13	13
米子	草刈技能講習	9月1日(火)	1	15	12	12
	剪定技能講習	9月3日(木)	1	15	21	21
	整理収納基礎講習	9月23日(水)～24日(木)	2	15	12	12
	介護補助講習	10月5日(月)～6日(火)	2	15	8	8
	傾聴スキル講習	11月25日(水)～26日(木)	2	15	16	16
合計	11		19	165	145	144

令和2年12月20日現在





## 就業体験・セミナー・教室の開催



今年度の就業体験等は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮し、屋外で実施する体験に限定し開催しました。

セミナーは、「終活」などシニア世代等に関心が高く、ブーム状態にある「整理収納」を開催しました。県東部、中部、西部での開催を計画し参加者を募集したところ、それぞれ定員を上回る応募がありましたが、東部での開催間際になって新型コロナウイルス感染症患者の多発に伴いコロナ警報が発令されたため、東部での開催は中止しました。

教室は、職種転換を希望する会員、昨年度1年間未就業の会員を対象として開催しました。

### ■就業体験

会場	就業体験	日程（開催順）	日数	定員	参加者
米子製鋼株	草刈就業体験	9月2日(水)	1	15	6
米子ゴルフ場	剪定就業体験	9月4日(金)	1	15	18
倉吉市円谷水源地	草刈就業体験	10月16日(金)	1	15	13
J A 鳥取農機センター	草刈就業体験	11月6日(金)	1	15	5
合計	4		4	60	42



草刈就業体験



剪定就業体験

### ■セミナー

会場	セミナー	日程（開催順）	日数	定員	参加者
米子市文化ホール	シニアの整理収納	8月6日(木)	1	50	44
米子コンベンションセンター	シニアの整理収納	8月21日(金)	1	50	50
新日本海新聞中部本社	シニアの整理収納	10月2日(金)	1	50	52
合計	3		3	150	146

※とりぎん文化会館での11月19日(木)と12月1日(火)のそれぞれ定員50名の整理収納セミナーは中止。



シニアの整理収納セミナー・米子



シニアの整理収納セミナー・倉吉

■教室

会場	セミナー	日程（開催順）	日数	定員	参加者
境港市SC	シニアの整理収納	7月3日(金)	1	20	14
岸本健康福祉センター	シニアの整理収納	7月9日(木)	1	25	15
米子広域SC	シニアの整理収納	7月16日(木)	1	30	18
合計	3		3	75	47



シニアの整理収納教室・境港



シニアの整理収納教室・伯耆



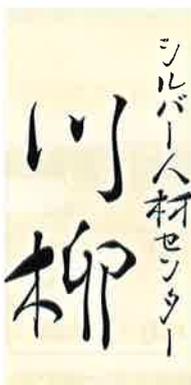
シニアの整理収納教室・米子

## メディアを使った 広報活動

60歳以上の健康で働く意欲のあるシニアに、地元のシルバー人材センターへ入会を勧めるCMを「山陰放送テレビ・ラジオ」「日本海テレビ」「さんいん中央テレビ」で放送しています。



※番組終了と同時に入会の問い合わせがあり、生放送の効果は絶大であった。



**会員募集中**  
TEL0859-37-2531

公益社団法人  
鳥取県シルバー人材センター連合会

障子張  
完璧目指し  
日々精進

シ

障子（張替作業編）



**会員募集中**  
TEL0859-37-2531

公益社団法人  
鳥取県シルバー人材センター連合会

安心は  
除菌作業の  
積み重ね

シ

デパート（除菌作業編）

**会員募集中**  
TEL0859-37-2531

公益社団法人  
鳥取県シルバー人材センター連合会

私のおすすめ  
無視はダメよ  
既読しなさい

シ

移動図書館車（運転業務編）

## 技能講習に参加して

技能講習を受講されて入会された方々の声をお届けします。

### 剪定技能講習

私がシルバー人材センターに入会した理由



米子市車尾  
高野 由子

人生百年の時代になりました。子育ても終わり、会社も退職し、始まったのが年金生活。友達はまだ現役だったり、孫の世話があたりと多忙です。

楽しく暮らすにはやはりお金が必要です。ある日、新聞のチラシにシルバー人材センターの「シニアの整理収納セミナー」の募集がありました。興味本位で受講して、あとで困らないかと、メ切りギリギリで申し込むと応募多数で追加セミナーもキャンセル待ちの状態、結局受講できませんでした。数ヶ月後、今度は「草刈・剪定技能講習」を知りました。少しの勇気とやってみて無理なら辞めればいい事なのだからと決心し応募しました。

剪定を選んだ理由は、自分の役に立つという事、美しく剪定された木々を見ることが好きな事、仕事自体が対人ではなく、木と自然との調和である事です。班長さんはじめ皆様、親切にご指導くださいま

す。初心者私ですが、楽しく取り組んでいこうと思っています。

(米子広域シルバー人材センター所属)

### 傾聴スキル講習

耳・目・心を傾けて聴くことの大切さ

米子市西三柳 石井 智子

今年の十一月、六十歳の誕生日を迎える事ができました。

退職後は、今年誕生した私と同じネズミ年の孫達のお世話かな、と思っていました。

今年、コロナ禍で大変な日々でしたが、シルバー人材センターで講習会が開催されることを知り、「介護補助講習」と「傾聴スキル講習」の二つを受講しました。

「介護」という言葉はよく耳にしますが、「傾聴」は初めてでした。「傾聴」とは「耳・目・心を傾けて、相手の話を聴くことです。単に「話を耳に入れる」「答えを導き出すように質問する」といった「聞く」という漢字の意味ではありません。

言葉に用いられている漢字「聴」にあるとおり、相手の言葉に「耳」を傾け、相手の様子などを「目」で見守り、相手の感情に「心」を持って話に共感します。そうする事によって、相手もこちら側を信頼してくれるようになり、納得できる方向へ行くことが目的です。看護、介護、ビジネス、家庭などいろいろな分野で必要とされています。

私が傾聴スキル講習を受講した一番の理由は、二

年前の十二月、実家の母が突然、家を出てしまい、まだ帰ってきません。母には多くの心配事が何十年も前からありました。それを今になって何故?と何度も何度も考えました。

今を思えば、長年の母の悩みに私自身が慣れてしまい、優しい言葉や真剣に向き合う姿勢が無くなってきていたと思います。誰か一人だけでも、自分の気持ちを傾聴してくれる人がいたら、母はそれで良かったかもしれません。

二年前に私が「傾聴」を知っていたら、母を助けてあげられたのかと考えています。

私の残りの人生、この講習で教えていただいた事を大切にして生きていくつもりです。

十二月から、シルバー人材センターからの紹介で、週一回だけ介護施設のお手伝いをさせていただいています。入会説明会で、「元氣なシルバーさんは、どうか人手の足りない職場を助けてあげてください。」と言われたのが強く心に響きました。無理のない日数と時間を相談する事ができたので助かりました。孫三人と八十九歳で一人暮らしの父の面倒を見ながら、少しでも社会のお役に立てたら私はとても幸せです。

シルバー人材センターの場所が、旧米子西高校の跡地です。私は四十二年前に米子西高校を卒業しました。これも何かのご縁だと思えます。どうぞ末永く宜しくお願いします。

(米子広域シルバー人材センター所属)





## 公益社団法人 大山町シルバー人材センター

事務局長 近藤 照秋

当シルバー人材センターは、平成十七年（二〇〇五年）の旧三町の合併に合わせ、同年四月一日に中山、名和、大山の三シルバー人材センターが合併して設立され、今年で十五周年を迎えました。設立当時の名称は、「社団法人」でしたが平成二十四年（二〇一二年）四月一日に「公益法人」に移行して今日に至っています。

会員数は、一七一名。ここ数年増減を繰り返していますが、平均年齢は七十三・八歳と年々上がっており五年前と比べて二・五歳も伸びています。また、入会年齢も六十五歳以上となっており世情を反映していると思います。

契約額は、微増傾向の四九、一七九千円。そのうち請負・受任契約額は、三六、四二六千円（七四・一％）で清掃・除草作業が約六割をしめています。派遣契約額は一二、七五三千円（二五・九％）でその主なものは文化財発掘調査関係となっています。経常収益は、四七、一五一千円。ほとんどが受託

事業収益の三六、四二六千円（七七・三％）、国・町の補助金九、〇〇〇千円（一九・一％）となっています。経常費用は、四七、一九七千円。内訳は、事業費四六、五三七千円（九八・六％）、管理費六六〇千円（一・四％）。結果、当期経常増減額は、△四六千円となりました。（数値は、令和元年度分）

令和二年度は、コロナ禍にあっても安全就業の徹底については、なによりも最優先で取り組んでいます。しかし、残念なことにSC会員が、今年七月剪定作業中に右足の踵を骨折するという事故が発生しました。会員だれもがチョットした油断から大きな事故につながることもあります。「自分の健康は自分で守る」という強い意思をもって就業していただきたいと願っています。全シ協の安全就業スローガンは、「いつでも 働く喜び 無事故から」です。

今後も少子高齢化と過疎化が進行するなかで、「自主・自立・共働・共助」の理念のもとに「適正就業ガイドライン」、「安全・適正就業指針」及び「安全就業基準」を順守して、生きがいの充実に努め、地域社会への貢献度を一層高めてまいります。



大山町シルバー人材センター正面



## 一般社団法人 八頭町シルバー人材センター

事務局長 矢山 貢

当シルバーは平成十七年に旧郡家町・八東町・船岡町が合併し、当時二万人越えの八頭町から現在では人口一万七千人と減少した八頭町内を地域として活動しています。高齢化率三十六%近く、県内各地で活動されている郡部にあるシルバーと同じような環境にあります。全方位に山並みがせまり、国道二十九号、五十三号で鳥取市につながり、千代川、八東川、私都川、大江川等の流域に接しています。会員数一五八人、平均年齢七十二才、残念ながら女性会員が増えないのが大きな課題です。幸いにも会員数の減少もなく、少しずつ増えており、少数精鋭で地域にもよく協調しながら貢献できているように思います。特記する就業内容はなく、農山村での剪定、草刈り、学校給食の運搬、デイサービスの送迎、障子張りなど、地域の需要に答えながら毎日が穏やかに着実に進行しています。どちらかというと、いっぱいといった就業が多忙を極めていきます。会員の皆さんの意識も高く、安全就業は勿論、依頼先から

「また次の時も頼むよ」などと喜ばれて、苦情もなく頑張っているところです。コロナ対策の為に年一回の新年交流会が中止となったのは非常に残念ですが、日常的に会員相互の連携もよく、地域にとってシルバー人材センターの安定した継続が望まれているところです。



八頭町  
シルバー人材センター新年交流会

令和2年1月25日 於：対翠閣

まだ、新型コロナの情報もなく、和やか、和気あいの楽しい会でした。



令和2年6月10日

令和2年の初総会です。

コロナ対策徹底しました。(3密を避けて、ソーシャルディスタンスも)



令和2年10月14日

今年のボランティアは参加者も多く、雨降りにもかかわらず、がんばりました。

# 会員の広場



## 卓球は脳の活性化

公益社団法人  
倉吉市シルバー人材センター

### 渡辺 和行

私が卓球を始めたのは、中学に入ってから近所の先輩を見習いなんとなくでした。

あれから六十年余り、中学では県大会団体の部で二位、高校は県立倉吉工業高校に一期生（倉吉東高から工業科が新設）として入学、一年間は東高で宿借り勉強、クラブ活動も合同で汗を流す。二年から



小田の広野に移り、通学は我が家からバスで。ギューギュー詰め時にはバス停の通過は当たり前、今は空でバス停通過、時代も変わったものだ。上井駅からは歩いて学校へ通う。実習室も体育館もなし、グラウンドはボコボコ、ローラーを引いて地ならし、学生生活は手作り感があり、卓球の練習は教室で机・椅子を片付けてから練習。それでも三年の時、全国大会予選で二位（インターハイの切符を逃し残念）ダブルスでは中国大会へ。すばらしい仲間に出会い、今でも時折OB会を開き親睦を深めています。そんな高校生活でしたが、最後に新しい体育館での卒業式の感激もつかの間、式が終わると先生から「四月からの就職先の大手鉄鋼メーカーが倒産し会社更生法へ」と告げられ入社予定だった私を含む四人が路頭に迷った。まあ色々ありましたが忘れる事のできない高校生活でした。

六十歳からラージボールを始めました。ラージボール球は硬球より大きく軽いので年配向きのピンポン球です。ラージボールの全国大会に四回出場。中でも一番の思い出は六十四歳の時、「熊本ねんりんピック」に選手兼監督として参加。結果はイマイチでしたがチームワークは抜群。開会式は晴天の下、常陸宮妃両殿下を迎え行われ、熊本城を築城した加藤清正をモチーフにしたアトラクション、水前寺清子のコーナーもあり歌にトークにと式に花を添えました。

現在は、鳥取県卓球ベテラン大会の事務局を十年余り裏方として大会事業の準備等に携わっています。今年はコロナの影響で全大会中止、早い終息を

願うばかり。

健康第一で皆さん共に頑張りましょう。



# 会員の広場

## 運動で健康寿命延伸



公益社団法人  
岩美町シルバー人材センター

中澤博之

数年前に退職し、ラージボールと出会った。地域の大先輩が、会長をしているクラブである。傘寿前の会長の勧誘もあり、入会することにした。

まずはラケットを購入しなければならない。スポーツ用品店に出かけたが、初めてのラケット購入とあって店頭で右往左往。卓球をするのは初めての旨を伝え、ラケットとラージボール用のラバー（表ソフト）を選んでもらい購入した。

いよいよ練習初日を向かえた。自己紹介から始まり、ラージボールについて会長より説明を受けた。硬式卓球のボールは、直径が四十ミリメートル（白色）であるが、四十四ミリメートル（オレンジ色）で、ネットは二センチメートル高いそうだ。またラージボールは、ラリーが長く続き高齢者に大変適しているとのことだった。

会長の手解きを受け練習を開始した。会員は無論高齢者であり健康維持のため、ほどよい汗を流す和

気藪々としたクラブである。初日の練習を楽しく終え、首を長くして以降の練習日を待つようになった。数ヶ月が過ぎたころ、鳥取のクラブへの入会を会長から勧められ快諾した。

しかし、入会したものの大変なクラブだった。私のような初心者には、どこを探しても見当たらない。三十名近くの会員構成

で、高齢者のクラブではあるが皆経験者なのだ。数々の大会では、いつも

上位に名を連ねる程の優勝経験者も多数在籍している。「しまった、レベルが違いすぎる」と感じた。昨日今日始めた私と

では、雲泥の差があることは当たり前である。月日が経ち、練習の甲斐あって多少上達したのではないかと自負している。運動は大切である。最新の統計（平成二十八年）

によると男性の健康寿命は、七二・一四年、女性は七四・七九年となっており、約四割前後のシニアに運動習慣があり、特に男性の割合が高いようだ（資料：シニアライフ



総研）。シルバー会員の皆様におかれましても「高齢者の集いへ」GOTO！色々な人との会話が楽しめるサークル活動に進んで参加し、健康寿命を少しでも長く維持できるよう切望します。



## ハチ駆除はおまかせ

公益社団法人

南部広域シルバー人材センター

毎原 充久

生れは南部町ですが、六十歳前まではサラリーマン。松江市でスーパー店長などをやっていました。

退職後、南部町に帰ってきて森林で樹木伐採の仕事をしています。チェーンソーで切り倒した木を、重機でトラックに積み込み、チップ工場や木材市場に出荷しています。

シルバー入会は四年前。自分の仕事以外で、同世代の人と付き合いをしたいと思ったからです。仕事や収入を求めてという訳ではありません。

ハチ駆除は趣味ではありませんが、森林での仕事で高所作業にも慣れていることから、ハチ駆除の先輩会員に声を掛けられました。

駆除するハチはスズメバチ、アシナガバチが主です。雨合羽を着てヘルメットに白いネットをかぶり足元は長靴と完全装備で挑みます。ハチ駆除の基本は、恐れず堂々と行うこと。あわてると足場から落ちたりします。

ハチ駆除は、ハチがかわいそうになるときもあり

ますが、困っている人をお助けしたいという気持ちでやっています。駆除が終わって、お客様からお礼を言われると、報われた気持ちになります。



# 趣味のひととき



公益社団法人  
智頭町シルバー人材センター

山本 一也

十月末、四十年来の友人二人とともに大山登山をしました。大山へ登るのは今回で六回目となります。さて当日は、六時三十分ごろ自宅を出発し、大山寺には九時過ぎに到着しました。大山情報館横に駐車、早々に準備を整え夏山登山道から登山開始しました。

四合目付近までは、西日本最大級の規模を誇るブナ林の中を小鳥のさえずりを聞きながらゆっくりと進みました。今回は、数年前から行われていた登山道や避難小屋等の改修工事が終わったばかりで丁度良いタイミングでした。建て替えられて間もない六合目避難小屋前にて小休憩。荒々しい北壁や三鉢峰、また眼下には紅葉に包まれた大山寺等が望まれました。なんと壮大で綺麗なことが、何度見ても心癒されます。

七合目辺りからは狭く急な登りとなり、足場も悪く登山客も増え、益々登るペースも遅くなりました。八合目付近からは、国内最大級の特別天然記念物「ダイセンキヤラボク」の中にある木道を歩き山



頂上に続く木道にて

頂へと進みました。山頂へは、登り始めて三時間少しかかりましたが無事到着し、三人で労をねぎらいました。その後、持ってきた小鍋で湯を沸かし、インスタントラーメンを作り昼食を摂りました。山で食べる温かい汁物は、おにぎりを更に美味しくします。これが楽しみで山登りをしているといってもよいでしょう。

昼食を済ませた後は、頂上碑にて記念撮影をしま



頂上碑にて

した。天候は快晴とはいえませんでした。眼下に広がる米子平野・弓浜半島や中海、その先にある島根半島も望むことができたことに感謝感謝。下山後は皆生温泉の宿に移動し、温泉に入り、ご馳走をいただきながら登山話に花を咲かせました。本当に楽しいひと時でした。

シルバーの会員になって、まだ半年の新参者です。今後も健康管理には十分注意し、趣味の山登りを楽しみ、またシルバーの作業に従事して発注者に喜ばれるよう頑張ります。

## 公益社団法人 鳥取県シルバー人材センター連合会 正会員名簿

名 称	代表者	〒	所 在 地	電話番号	F A X
(公社)鳥取市シルバー人材センター	田中 勉	680-0845	鳥取市富安2-104-1	0857-22-0050	0857-22-0051
(公社)米子広域シルバー人材センター	仲村 一男	683-0811	米子市錦町1-110	0859-32-2633	0859-32-5823
(公社)倉吉市シルバー人材センター	中林 正樹	682-0816	倉吉市駄経寺町2-8-1	0858-22-0870	0858-23-6101
(公社)境港市シルバー人材センター	米村 健治	684-0034	境港市昭和町11-22	0859-47-4540	0859-47-4541
(公社)南部広域シルバー人材センター	有馬 均	683-0351	西伯郡南部町法勝寺170	0859-66-4011	0859-66-5330
(公社)智頭町シルバー人材センター	小林 實夫	689-1402	八頭郡智頭町智頭1795-1	0858-75-0170	0858-75-2366
(公社)岩美町シルバー人材センター	渡瀬 正章	681-0065	岩美郡岩美町新井269	0857-72-2511	0857-72-2512
(公社)湯梨浜町シルバー人材センター	米村 繁治	682-0712	東伯郡湯梨浜町上浅津123-1	0858-35-4130	0858-35-4130
(公社)琴浦町シルバー人材センター	田中 明	689-2316	東伯郡琴浦町下伊勢196-3	0858-52-1001	0858-52-1004
(公社)北栄町シルバー人材センター	日置 勝彦	689-2103	東伯郡北栄町田井46-2	0858-36-6220	0858-36-6227
(公社)大山町シルバー人材センター	西川 昌康	689-3332	西伯郡大山町末長269-1	0859-53-4787	0859-53-1310
(一社)八頭町シルバー人材センター	衣笠 春壽	680-0463	八頭郡八頭町宮谷254-1	0858-72-3351	0858-72-3361
江府町シルバー人材センター	山本 信男	689-4401	日野郡江府町江尾2069	0859-75-2942	0859-75-3900
日南町シルバー人材センター	段塚 傑	689-5211	日野郡日南町生山397-1	0859-82-0223	0859-82-6058
三朝町シルバー人材センター	田淵 忠昭	682-0152	東伯郡三朝町本泉359-1	0858-43-1883	0858-43-1883



新年明けまして  
おめでとう  
ございます



### 表紙に寄せて

#### 白砂青松の弓ヶ浜サイクリングコース

鳥取県を東西に横断する全長約一四〇キロの「鳥取うみなみロード」が二〇二〇年三月開通。写真はそのうち、鳥取県西部の境夢みなとタ―ミナルと日野川河口を結ぶ約十六キロの「白砂青松の弓ヶ浜サイクリングコース」。

風光明媚な風景の中を爽快に走り抜けられるコースです。

### あとがき

今回も、関係各位のご協力によりまして第35号の発行を迎えることが出来ました。

まずもって、厚くお礼申し上げます。

二〇二〇年は、新型コロナウイルスでオリンピック・パラリンピックも延期となる等、大変な年となりました。

二〇二一年は、何とかコロナを克服して少しでも明るい年になるよう心からお祈り申し上げます。

### 会報 鳥取 第三十五号

令和三年一月発行

発行 公益社団法人

鳥取県シルバー人材センター連合会

所在地 〒683-1081

鳥取県米子市角盤町一丁目七六

電話 〇八五九一三七―二五三一

FAX 〇八五九一三七―二五三七

